

西都市教育研究センター

目 次

I	研究主題	3-3-1
II	主題設定の理由	3-3-1
III	研究の目標	3-3-1
IV	研究の仮説	3-3-1
V	研究内容	3-3-2
1	理論研究	3-3-2
	(1) 実態調査	3-3-2
	(2) ねらいと指導過程と学習活動の関連の整理	3-3-2
	(3) 指導計画の様式の見直し	3-3-4
2	実践研究	3-3-5
	(1) 小学校 第5学年「西都の米作りについて知ろう」	3-3-5
	ア 指導計画及び学習活動の様子	3-3-5
	イ 考察	3-3-8
	(2) 中学校 第1学年「福祉について考えよう」	3-3-8
	ア 指導計画及び学習活動の様子	3-3-8
	イ 考察	3-3-10
VI	成果と課題	3-3-10
	【参考文献】	
	【研究同人】	

I 研究主題

キャリア教育の視点を踏まえた「さいと学」の創造 ～ ふるさと西都を愛し、社会に貢献しようとする児童生徒の育成を目指して ～

II 主題設定の理由

本市では、平成19年度に構造改革特別区域の認定を受け、新教科「さいと学」がスタートした。平成20年度に教育特区の許認可権が文部科学省に移管されたために、平成21年度より、「教育課程特例区」という新しい枠組みの中で、「さいと学」は新教科ではなく、総合的な学習の時間として位置付けられることになった。これまで、各学校では新設された教科「さいと学」において、学習内容や指導方法の改善に力を注いできた。

しかしながら、指導者が学びの有用性やつながりを十分に意識せずに指導していたのではないかという課題が見えてきた。それにより、子どもたちは「何のために学ぶのか」、「学んだことをどう生かすのか」が分からないまま学習に取り組んでいたのではないかと考えられる。

また、昨今の教育的課題の一つに「キャリア教育」の充実が挙げられる。それは、児童生徒の勤労観・職業観の希薄化や社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質を培う上での課題、さらには資質・能力の発達の遅れをめぐる課題、早期離職率や非正規雇用率の高さなどの社会問題の表面化、加えて、子どもたちの中に、将来に不安を感じ、学校での学習と自分の将来との関係に意義が見出せずに学習意欲が低下したり、学習習慣が身に付かなかつたりといった状況があることも指摘されている。

そこで、西都市教育研究センターとして、「さいと学」のよさを継承しつつ、よりよい「さいと学」の創造に向けて研究に取り組むことにした。それは、総合的な学習の時間において、地域を学び、地域に学び、自分を見つめることができる児童生徒を目指した取組であり、西都市の全小・中学校にその考え方を広めていきたいという我々の願いでもある。

この研究を進めていく上での視点として、次の2点を掲げることとする。

- ① 指導する側が、子どもにどんな力を身に付けさせたいかを明確にする。
- ② 探究的な学習をベースに、キャリア教育の視点を踏まえた「さいと学」における学習活動の構築を行う。

このような研究を進めることは、西都の「ひと・もの・こと」の学習を通して西都のよさを知ると共に、自分の生き方や将来を考える子どもの育成につながり、今を生きる子どもたちに必要な力になると考え、本主題を設定した。

III 研究の目標

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の視点を踏まえた「さいと学」の研究を通して、ふるさと西都を愛する児童生徒の育成を目指す。

IV 研究の仮説

キャリア教育の視点を踏まえた「さいと学」の授業における指導方法を工夫・改善することにより、一人一人の社会的・職業的自立に向けた必要な能力や態度を育むとともに、生涯にわたってふるさとを愛する心と社会に貢献する態度を育てることができるのではないかと。

V 研究内容

1 理論研究

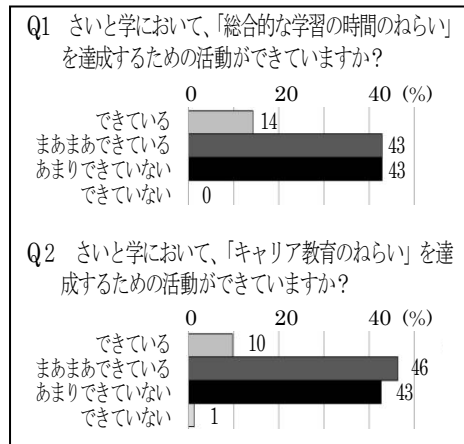
(1) 実態調査

資料-1は、市内教職員に行ったアンケート結果である。この結果から「総合的な学習の時間やキャリア教育のねらいが十分達成できているとはいえない」ことが分かった。

これは、「さいと学」「総合的な学習の時間」「キャリア教育」のねらいや指導過程の関連が整理されていないためだと考えた。そこで、次の2点を研究の視点とした。

視点① 指導する側が、子どもにどんな力を身に付けさせたいかを明確にする。

視点② 探究的な学習をベースに、キャリア教育の視点を踏まえた「さいと学」における学習活動の構築を行う。



資料-1 アンケート結果
対象 市内小中学校教職員

(2) ねらいと指導過程と学習活動の関連の整理

子どもに身に付けさせたい力を明確にするために、「教育ブランド西都」「キャリア教育」「総合的な学習の時間」「さいと学」のねらいを改めて整理した（資料-2）。

教育ブランド西都

小中高一貫教育を通して『たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性』を備え、郷土に対する誇りと国際感覚にあふれ、新たな時代を切り開いていく気概をもち、心身ともに調和のとれた児童生徒の育成

キャリア教育～自分に気づき、未来を築く

- 一人一人のキャリア発達の支援
- 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲の向上
- 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度の育成
- 望ましい勤労観・職業観の育成

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
例 ・他者の個性を理解する能力 ・他者に働きかける能力 ・コミュニケーション・スキル ・チームワーク ・リーダーシップ 等	例 ・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・自己の動機付け ・忍耐力 ・ストレスマネジメント ・主体的行動 等	例 ・情報の理解・選択・処理等 ・本質の理解 ・原因の追究 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価・改善 等	例 ・学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解 ・将来設計 ・選択、行動 等

中学校 ○ 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ○ 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成
○ 進路計画の立案と暫定的選択 ○ 生き方や進路に関する現実的探索

小学校 ○ 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ○ 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
○ 夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得 ○ 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

高学年～苦手なことや初めて経験することに失敗を恐れずに取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする。
中学年～友達のをよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚することができるようにする。
低学年～自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味関心を高めながら意欲と自信を持って活動できるようにする。

総合的な学習の時間

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

課題発見・解決能力	論理的思考力	コミュニケーション能力
-----------	--------	-------------

さいと学

児童・生徒が、西都市の自然・環境、歴史・伝統、産業・生活など、西都市の教育資源を有効に活用しながら学習し、西都市の特色や課題を理解するとともに、西都市とのかかわりの中で、自分を見つめ直し、西都市の未来や自分の生き方について考えることを通して、生涯にわたってふるさとを愛する心と態度を育てる。

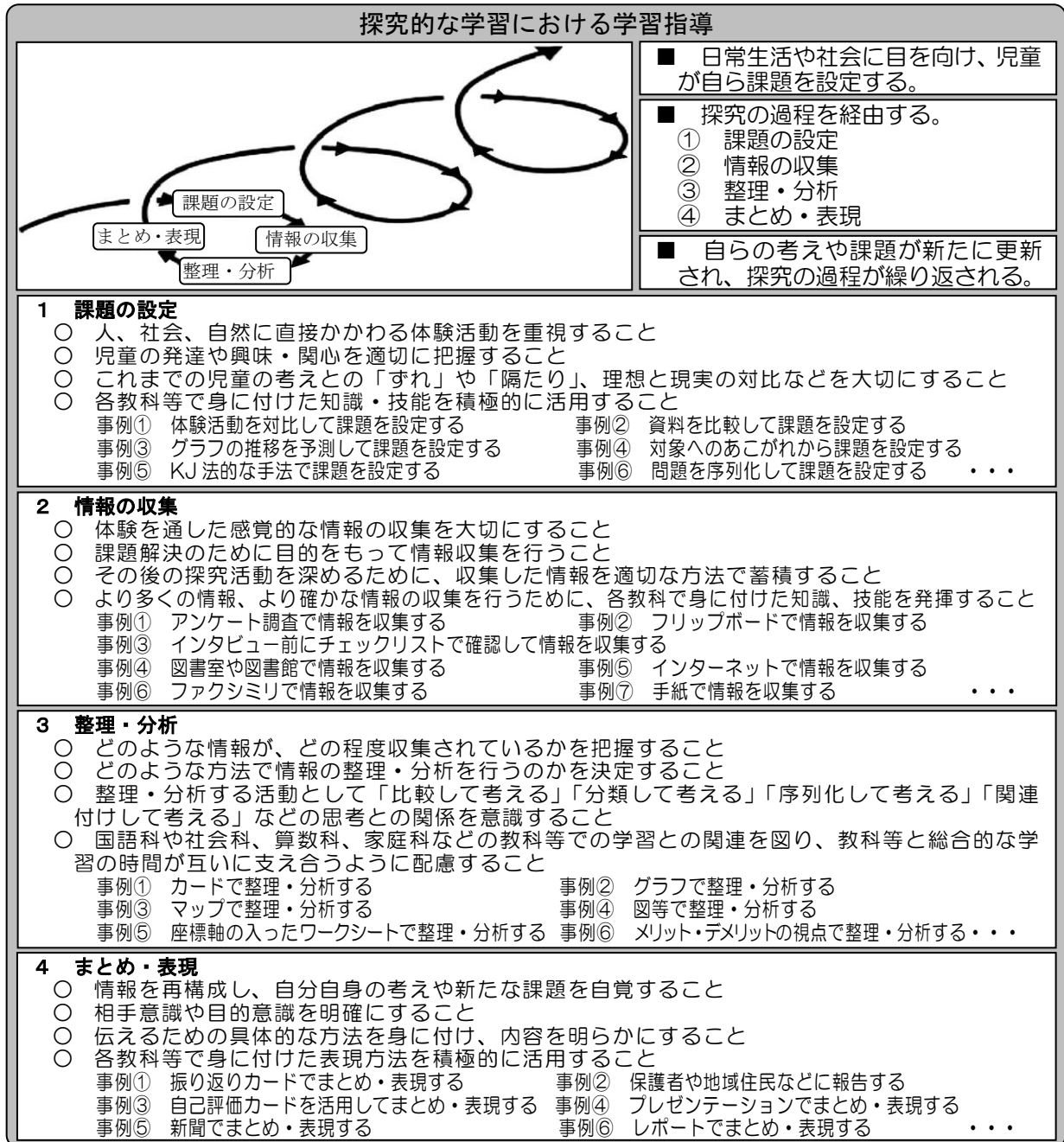
関心・意欲・態度	情報活用の技能・表現	思考・判断	知識・理解
----------	------------	-------	-------

資料-2 「教育ブランド西都」「キャリア教育」「総合的な学習の時間」「さいと学」のねらいの整理

「さいと学」は、「総合的な学習の時間」として指導されている。よって、「総合的な学習の時間」のねらいを達成することが「さいと学」のねらいの柱となる。総合的な学習の時間のねらいを達成するための学習指導の基本的な考え方として、次の5つが示されている。

- ①探究的な学習 ②協同的な学習 ③体験活動の充実 ④言語活動の充実 ⑤各教科等との関連

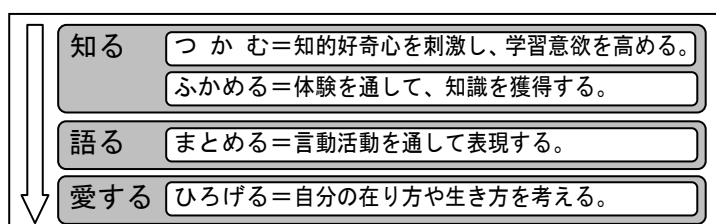
この5つの中で、特に「①探究的な学習」をさいと学の学習においてより重視することが必要だと考えた。資料-3は、課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力等の育成に資する探究的な学習過程と各過程における学習活動を示したものである。



資料-3 探究的な学習過程と各過程における学習活動

さいと学では、さいと学のねらいを達成するため「知る→語る→愛する」の学習過程が示されている（資料-4）。

これまで、「知る→語る→愛する」の学習過程と探究的な学習過程（資料-3）の関連が明確にされていなかった。



資料-4 「さいと学」の学習の進め方

そこで、「さいと学」「総合的な学習の時間」「キャリア教育」の学習のねらい（資料-2）と学習過程・学習活動（資料-3、資料-4）を関連付けたイメージ図を作成した（図-1）。

さらに、資料-1に示した「総合的な学習の時間」と「キャリア教育」のねらいをもとに、さいと学の学習において「何を知り」「何を語り」「何を愛するのか」を明確にした（図-1）。

このように、「西都のひと・もの・こと」を通して探究的な学習活動や知る・語る活動を繰り返すことで、身に付けさせたい力を積み上げていくとともに、西都を愛する心を育むようにすることとした。

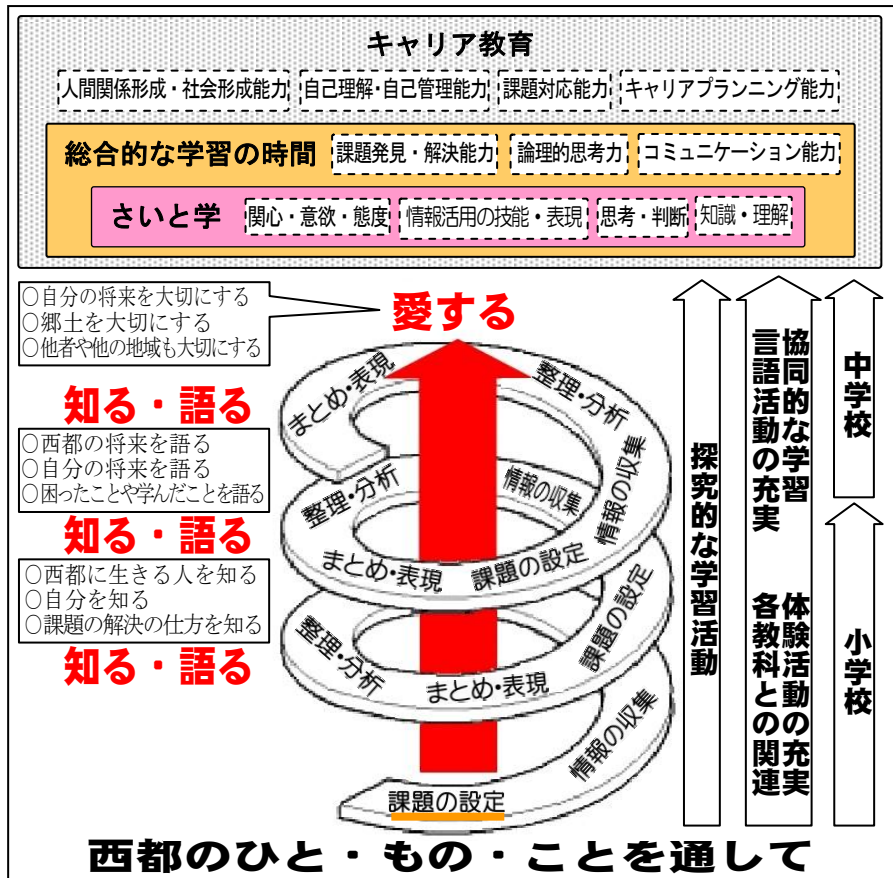


図-1 探究的な学習過程をベースとした「さいと学」のイメージ図

(3) 指導計画の様式の見直し

整理した「ねらい」「学習過程」「学習活動」をもとに、具体的に指導計画を作成するため、指導計画の様式を見直した。「さいと学」「総合的な学習の時間」「キャリア教育」の関連が捉えやすいようにすることを見直しの視点とした。

資料-5は、見直した指導計画の様式と、これまでに整理した資料-2・資料-4の関連を示したものである。

さいと学学習指導案				
探究的な指導過程	学習活動 (学習活動の方法)	評価計画 (評価の観点)	目指す児童の姿 【キャリア教育の観点】	時数
1 学年 第○学年				
2 単元名 「○○○」				
3 単元目標		(さいと学 年間指導計画より)		
4 キャリア教育の目標		4つの能力の例を参考に (資料-2より)		
5 単元計画				
課題の設定	○ (●●●)	(関心・意欲・態度) (思考・判断) (技能・表現) (知識・理解)	【人間関係形成・社会形成能力】 【自己理解・自己管理能力】 【課題対応能力】 【キャリアプランニング能力】	
情報の収集	○			
整理・分析	○		総合的な学習の時間における学習活動の事例を参考に (資料-3より)	
まとめ・表現	○			
課題の設定				
情報の収集				
整理・分析			1サイクル (課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・発表) を太枠で囲む。	
6 本時の目標				
7 学習指導課程				

資料-5 指導計画の様式

2 実践研究

(1) 小学校 第5学年「西都の米作りについて知ろう」

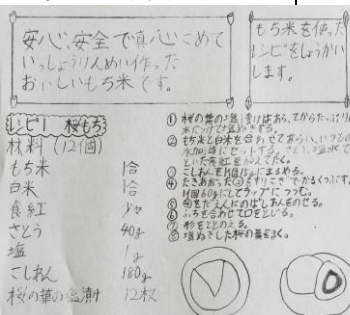
10月に三財小学校第5学年において、「西都の米作りについて知ろう」の小単元「自分たちの育てたお米を販売しよう」の実践を行った。

ア 指導計画及び学習活動の様子

指導計画及び学習活動の様子は資料-6の通りである。

キャリア教育の視点をふまえたさいと学の指導計画					
1	学 年	第5学年			
2	単 元 名	「西都の米作りについて知ろう」			
3	単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の米作りに対して積極的にかかわろうとする態度をもち、地域の米作りに関心をもつ。 (関心・意欲・態度) ○ 米作りの体験を通して、農業にかかわる人々の思いや願いに気付き、米作りの役割や大切さを考える。 (思考・判断) ○ 米作りの体験を通して考えた米作りの大切さや課題を農業にかかわる人々の思いや願いを関連させて表現できる。 (技能・表現) ○ 米作りの手順や苦勞、収穫の喜び、米の生育の特徴を理解し、農業にかかわっている方の生活を知る。 (知識・理解) 			
4	キャリア教育の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ JAや地域の方々との交流を図りながら、協力して米作り、米の販売、もちつきに取り組むことができる。 (人間関係形成・社会形成能力) ○ 米作り、米の販売、もちつきの苦勞を体感しながら、活動に粘り強く取り組むことができる。 (自己理解・自己管理能力) ○ 米作り、米の販売、もちつきについて自ら課題を設定し、解決することができる。 (課題対応能力) ○ 米作り、米の販売、もちつきの体験を通して、働くことの意義を知り、将来の自分の生き方につなげることができる。 (キャリアプランニング能力) 			
5	単元計画	(全33時間)			
	探究的な学習過程	学習活動 (学習活動の方法)	評価計画 (評価の観点)	目指す児童の姿 【キャリア教育の観点】	時数
	課題の設定 情報の収集	米作りクイズをする。 米作りカレンダー作りに必要な情報を収集する。 (図書室、インターネットで調べる)	西都で作られている米の種類や米作りについて調べようとする。 (関心・意欲・態度) 米の種類や米作りについて、資料を使って情報を探すことができる。 (技能・表現)	これから米作りが楽しみだな。 【自己理解・自己管理能力】 カレンダー作りに必要な情報は何だろう。 【課題対応能力】	1
	整理・分析 まとめ・表現	調べた作業について、カレンダーに整理する。 (カレンダー) 完成したカレンダーと西都の他の様子を比べ、感想を発表する。(振返カード)	米の種類や米作りについて考えることができる。 (思考・判断) いろいろな米の種類が生産されていることを理解できる。(知識・理解)	調べたことをカレンダーにまとめよう。 【課題対応能力】 他の地域と西都の米作りの違いが分かった。 【課題対応能力】	1
	課題の設定 情報の収集	稲の種まきの仕方について調べ、ポイントをまとめる。 (作業カード)	種まきの仕方について調べ、作業の準備について考えることができる。 (思考・判断)	どうやって種まきをするのかな。 【課題対応能力】	1
	整理・分析 まとめ・表現	稲の種まきを行い、手伝いに来ていただいた方々の思いを整理する。また、学習した感想を書き、それを交流する。 (座標軸ワークシート)	体験を基にして、種まきの手伝いをしていただいた方々の思いを知る。 (知識・理解)	どんな思いで、米作りを手伝ってくださっているのだろう。 【キャリアプランニング能力】	2
					

探究的な学習過程	学習活動 (学習活動の方法)	評価計画 (評価の観点)	目指す児童の姿 【キャリア教育の観点】	時数
課題の設定 情報の収集	田植えの準備をする。発芽から田植えまでの期間や稲の生長について調べる。(生育カード)	田植えに必要な準備について考えることができる。 (思考・判断)	田植えには、どんな準備が必要なのかな。 【課題対応能力】	1
整理・分析 まとめ・表現	田植えをする。 田植えをした感想を書き、意見を交流する。(振り返りカード)	手植え体験を通して、今と昔の田植えを比べ、昔の人の苦労について知ることができる。(知識・理解)	がんばって田植えをしよう。【自己理解・自己管理能力】 昔の人は苦労して田植えをしたんだな。 【キャリアプランニング能力】	2
課題の設定	お米がたくさん取れるためには、どのような作業が必要か予想する。(観察・KJ法)	稲の生長に関心をもち、観察をすることができる。(関心・意欲・態度)	どのような作業が必要か予想してみよう。 【課題対応能力】	1
情報の収集	これまでに、どのような作業をしていたらいいのか、調べる。(インタビュー)	これまでにどのような作業をしていたらいいのか、インタビューする。(技能・表現)	どのような作業が必要か農家の方にインタビューしてみよう。 【人間関係形成・社会形成能力】	1
整理・分析	稲の生長の様子を観察に行き、これから自分たちでできる作業はないか考える。(生育カード) 草取りなどの作業を行い、その苦労について知る。(振り返りカード)	大きく成長させるために、どんな世話が考えられることができる。(思考・判断)	自分たちでできそうなお世話を考え、実行しよう。 【課題対応能力】 草取りの作業は大変だけど、がんばろう。 【自己理解・自己管理能力】	2
まとめ・表現	手刈りで稲刈りを行い、米が実るまでの工夫や努力についてまとめ、感想を交流する。(振り返りカード)	手刈り体験を通して、今と昔の田植えを比べ、昔の人の苦労について知ることができる。(知識・理解)	稲刈りの作業は大変だけど、がんばろう。 【自己理解・自己管理能力】 農家の方の仕事の苦労がよく分かった。 【キャリアプランニング能力】	2
課題の設定	お米がたくさん売れるためには、どんな工夫をしたらよいか考える。(KJ法)	自分たちが育てたお米がたくさん売れるための方法について、意欲的に考えることができる。(関心・意欲・態度)	お米屋さんへ、お米を販売するときの工夫を聞いてみよう。 【人間関係形成・社会形成能力】 がんばって、お米をたくさん売りたいな。 【自己理解・自己管理能力】 どうしたらお米が売れるか考えよう。 【課題対応能力】	1
情報の収集 整理・分析	自分たちが育てたお米(品種、育て方、育てた人の思い等)について調べ、どのようなキャッチコピーで販売したらよいか考える。(販売用看板、POP作成)	自分たちが育てたお米はどんなお米か調べ、それをキャッチコピーとして表現することができる。(技能・表現)	自分たちの作っているお米はどんなお米なのだろう。 【課題対応能力】 お米が売れるようなキャッチコピーを考えよう。 【課題対応能力】	6 本時 (3/6)
まとめ・表現	お米販売をしての感想を書き、意見を交流する。(振り返りカード)	お米販売を通して、小売業の工夫や努力について知ることができる。(知識・理解)	物を売るためには、いろんな工夫が必要なんだな。仕事をするの大切さがよく分かった。わたしも販売の仕事に携わってみたい。 【キャリアプランニング能力】	1
課題の設定	もちつきはどのように行えばよいか、これまでの経験を基に考える。(KJ法)	もちつきの仕方について、これまでの経験を基に、意欲的に考えることができる。(関心・意欲・態度)	もちつきはどのようにするのだろう。どのような道具や材料が必要だろう。 【課題対応能力】	1
情報の収集 整理・分析	もちつきの仕方について調べ、必要な準備を行う。(もちつき準備カード)	もちつきの仕方について調べ、必要な準備を行うことができる。(技能・表現)	もちつきの仕方についてお家の人に聞いてみよう。 【人間関係形成・社会形成能力】	1
まとめ・表現	もちつきをした感想を書き、意見を交流する。(振り返りカード)	もちつき体験を通して、もちつきの工夫や努力について知ることができる。(知識・理解)	もちつきができたのも、様々な方の協力があったからだ。感謝しよう。 【人間関係形成・社会形成能力】	2

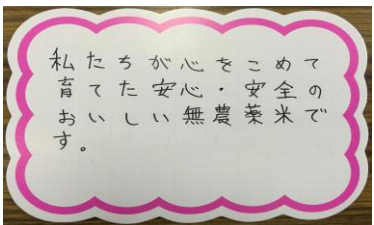


課題の設定	一年間のお米学習をさらに発展させて、どのようなことについて調べたいか課題を見つける。 (ウェブピング)	自分が調べたいことを、意欲的に見つけようとしている。 (関心・意欲・態度)	これまでの経験を生かして、さらに米作りについてくわしく調べたいな。 【課題対応能力】	1
情報の収集	それぞれの課題について調べる。(インタビュー、アンケート、図書室、インターネット)	それぞれの課題について、様々な方法で情報収集することができる。 (技能・表現)	調べたいことをいろんな方法で調べてみたいな。 【課題対応能力】	2
整理・分析	調べたことを整理する。 (カード、グラフ、図、座標軸)	調べたことを、様々な方法で整理・分析することができる。 (思考・判断)	調べたことを関連付けて、まとめていきたいな。 【課題対応能力】	3
まとめ・表現	調べたことを参観日に発表する。(新聞、ポスター、レポート)	調べたことを、様々な方法で伝えることができる。(技能・表現)	保護者の方々や米作りでお世話になった方々へ感謝の思いをこめながら発表したい。【人間関係形成・社会形成能力】	1

6 本時の目標

- 収集した情報を基に、根拠を明確にしなが、キャッチコピーの案を考えることができる。 (思考・判断)

7 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
つかむ	1 前時までの学習活動の振り返りと本時の学習活動について確認する。 2 本時学習のめあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">お米がたくさん売れるようなキャッチコピーを考えよう。</div>	○ 前時までに収集した情報をまとめた模造紙を活用して、これまでの学習活動を振り返らせる。 ○ 児童の主体的な学習活動を促すために、小單元における本時の位置付けを確認するとともに、本時学習活動の見通しをもたせるために児童の言葉をつないで、めあてを設定する。	収集した情報をまとめた掲示物 学習計画表
見通す	3 学習の流れを確認する。 ①個人思考→②班での話し合い→③全体発表	○ 学習の流れを提示することで、学習内容及び学習活動への見通しをもたせ、主体的に学習に取り組ませる。	メニューボード
考える	4 キャッチコピーの案を考える。 ① 個人で考える。 ○ 自分が考えた、キャッチコピーをPOP用紙に書き、その裏に根拠となる理由を考えて書く。  ② 班で話し合う。 ○ 個人の考えを発表する。 ○ 班での考えをまとめる。 ③ 全体で発表し、情報を共有するとともに、相互に意見を述べ、キャッチコピーをよりよいものにしていく。 ○ 発表 ○ 意見交換 ○ 班の話し合い (再検討) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="background-color: #ffcc99; padding: 5px; border: 1px solid black;">5 班 三財の黒土大地のもと作られた安心・安全の笑顔あふれる心をこめて作られたおいしいお米です!</div><div style="background-color: #ffcc99; padding: 5px; border: 1px solid black;">6 班 三財の黒土大地のもと5年生が協力して育てたうまい!安心安全なお米をぜひぜひ食べてください。</div></div>	○ 思考を可視化させるために、POP用紙を用意し、考えたキャッチコピーを表面に、その理由を裏面に書かせる。理由を考える際には、これまで収集した情報と関連付けられるようにする。 ○ それぞれの意見の共通点・相違点を明確にさせながら、班の意見をまとめていけるように中間指導を行う。 ○ 情報を共有させるために、班ごとに根拠となる理由を添えて発表させる。 ○ キャッチコピーをさらによいものにするために、相互に意見やアドバイスを述べさせながら、班の考えを再構成させる。	キャッチコピーの例 POP用紙 班の意見をまとめる紙 マジックペン
まとめる	5 本時を振り返る。 ① 本時学習をまとめる。 ② 自分自身の本時学習について振り返る。 ③ 次時からの活動内容について見通しをもつ。	○ 主体的な学習活動とするために、今後の学習活動を提示しながら、へそ祭りに向けてどんな準備が必要か考えさせる。 <評価> 根拠を明確にしなが、キャッチコピーの案を考えることができたか。	

資料－6 第5学年「西都の米作りについて知ろう」 指導計画及び学習活動の様子

イ 考察

- 「自分たちの育てたお米」を販売するという目的意識をもたせることにより、児童の主体的な活動が促され、働くことの意義や地域のよさを知ることにつながった。
- 探究的な学習のサイクルを意識した授業を実践したことにより、児童の学習意欲が継続し、様々な方法で課題を解決しようとする児童の姿が見られた。
- キャリア教育の視点を踏まえたさいと学のねらいを達成するためには、それぞれの学年において身に付けさせたい力を意識した指導を行う必要がある。

(2) 中学校 第1学年「福祉について考えよう」

11月に三財中学校第1学年において、「福祉について考えよう」の実践を行った。

ア 指導計画及び学習活動の様子

指導計画及び学習活動の様子は資料-7の通りである。

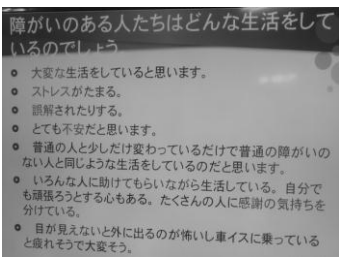


キャリア教育の視点をふまえたさいと学の指導計画				
1	学 年	第1学年1組		
2	単 元 名	「福祉について考えよう」		
3	単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉について関心を持ち、意欲的に取り組む中で、自分たちが住む地域の福祉を通してさらによくしていこうとする態度を身に付ける。 (関心・意欲・態度) ○ 福祉が現在の私達の生活にどのような関わりがあるか調べることを通して、その重要性について深く考える力を身に付ける。 (思考・判断) ○ 西都市の福祉の現状について、自分で考え、客観的にまとめ、表現する力を身に付ける。 (技術・表現) ○ 西都市の福祉の特色や課題について理解を深める。 (知識・理解) 		
4	キャリア教育の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉の現状と課題について理解し、「共に生きる力」「社会に貢献する力」「奉仕のちから」を育む。 (人間関係形成・社会形成能力) ○ 他者の立場や生き方を理解することで、自己を見つめ直し、自分を知り自分を尊重し自分を磨き育てていこうとする。 (自己理解・自己管理能力) ○ 課題を解決するための方法を考え実践し、学習のまとめを作成することで、「解決する力」「表現する力」を育む。 (課題対応能力) ○ 介助用の補助具を作る仕事や施設での仕事など福祉に関する職業に関心をもつ。 (キャリアプランニング能力) 		
5	単元計画 (6時間)			
探究的な学習過程	学習活動 (学習活動の方法)	評価計画 (評価の観点)	目指す生徒の姿 【キャリア教育の観点】	時数
課題の設定	福祉について知っていることや疑問について話し合い見通しをもつ。(ワークシート)	福祉について興味・関心を持ち、意欲的に話し合うことができる。 (関心・意欲・態度)	福祉について興味・関心をもつことができる。 【課題対応能力】	0.5
情報の収集	福祉に携わる方の講話を聞いたり、福祉体験をしたりする。(講話・福祉体験)	講話や体験を通して、福祉について理解を深めることができる。 (知識・理解)	福祉に携わる方の講話に対して質問したり、福祉体験において、友達が困らないように声をかけたり、手助けしたりすることができる。 【人間関係形成・社会形成能力】	1.5
				
整理・分析まとめ表現	福祉に関する講話や体験を通して学んだことや感じたことをまとめる。(ワークシート)	福祉に関する講話や体験を通して学んだことや感じたことをまとめることができる。(技能・表現)	福祉の仕事や福祉に携わる方々の思いや苦勞を知るとともに、福祉に関して新たな疑問をもつことができる。 【キャリアプランニング能力】 【課題対応能力】	

探究的な学習過程	学習活動 (学習活動の方法)	評価計画 (評価の観点)	目指す生徒の姿 【キャリア教育の観点】	時数
課題の設定	福祉に関わる人々、職業や道具等について、地域調査を計画し、発表する。(ワークシート)	福祉について興味・関心を持ち、地域調査の計画を意欲的に話し合える。 (関心・意欲・態度)	班長を決めて、協力しながらテーマと計画について話し合う。メンバーの意見に耳を傾ける。 【人間関係形成・社会形成能力】 【課題対応能力】	本時 1
情報の収集	計画に沿って、グループで調べる。(図書室・インターネット・インタビュー・電話・ホーム訪問等)	自分たちが決めたテーマについて、福祉の資料やインターネット等を活用し、調べることができる。 (技能・表現)	グループで協力して、利用できるツールを使って必要な情報を集める。計画に沿って行動できる。 【人間関係形成・社会形成能力】 【課題対応能力】	1
整理・分析	調べた内容について、分かりやすく伝えるために、発表する内容を精選し、説明の順序を組み立てる。(パソコン・模造紙)	調べた内容について、分かりやすく伝える工夫をすることができる。 (技能・表現) (思考・判断)	発表に向けて情報をより分け、分かりやすくまとめる。協力して発表の練習をする。 【課題対応能力】 【キャリアプランニング能力】	1
まとめ表現	調べた内容について、分かりやすく発表する。(パソコン・模造紙)	自分たちの調べた内容を、相手に伝わるように発表できる。他の生徒の発表を聞き、福祉についての知識・理解を深める。 (技能・表現) (知識・理解)	役割を果たしながら意欲的に発表する。他のグループの発表を、メモを取りながら聴く。質疑応答ができる。 【人間関係形成・社会形成能力】 【自己理解・自己管理能力】	1

6 本時の目標

- ア 福祉体験を通して学び感じたことから、より深めるための課題を見つける。(関心・意欲・態度)
 イ 課題解決のための方法を、話し合いをしながら、見つける。(思考・判断)

7 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
つかむ	1 前時の振り返りをする。 2 全体の流れを確認する。 3 示されたアンケート結果をみて、これからの課題について考える。 4 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分たちの考えたい課題と、課題解決のための方法を見つけよう。</div>	○ 体験学習での様子を示し、想起させる。 ○ 結果を示しながら、前時に気づいたことや考えたことを思い出させるとともに、自分以外の人の考えからも学ばせる。 	体験学習の様子(画像) ワークシート① アンケート結果について、知らせる。(プレゼン)
見通す	5 この後の3時間の内容を知る。 6 課題解決のための方法について知る。	○ 活動、発表準備、発表という流れについて示す。 ○ インタビュー、訪問、インターネット等調べる方法について知らせる。 	ワークシート① さいと学副読本 提示カード
考える	7 同じ課題を考えている生徒同士でグループを作る。 8 課題解決のための方法について話し合う。 9 課題解決のための計画を立てる。実現するために具体的に進めるよう指示する。	○ グループの案を示す。 ○ インタビュー、訪問、調べる方法についてどの方法がよいか考えさせる。 ○ 電話のかけ方、アポイントの取り方について、提示しておく。 <評価> 福祉体験を通して学び感じたことから、より深めるための課題を見つける。課題解決のための方法を、話し合いをしながら、見つける。 	ワークシート② 提示カード 提示カード
まとめる	10 ワークシートを仕上げ、次時につなげる。		ワークシート②

イ 考察

- 単元のはじめに体験活動を取り入れたことにより、自ら課題を見つけ、様々な方法で課題を解決しようとする生徒の姿が見られた。
- 地域の福祉に携わる様々な人たちと交流したり、学んだことを発信したりすることにより、相手意識をもち、コミュニケーションをとろうとする態度が見られた。
- 地域に貢献しようとする態度を育てるために、単元指導計画をさらに工夫する必要がある。
- キャリア教育の視点を踏まえたさいと学のねらいを達成するためには、各教科との関連をさらに図っていく必要がある。

VI 成果と課題

- それぞれのサイクルで身に付けさせたい力や活動を明確にした計画を立てることにより、キャリア教育や総合的な学習の時間のねらいを達成するための学習を展開することができるようになった。
- さいと学の学習過程「知る、語る、愛する」と総合的な学習の時間の学習過程「課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現」を関連付けた学習過程とすることで、児童生徒の体験や疑問をもとにした探究的な学習を展開できるようになった。
- さいと学の評価規準（関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解）と総合的な学習の時間で身に付けさせたい力（例 学習方法に関すること 自分自身に関すること 他者や社会とのかかわりに関すること）の関連を見直す必要がある。
- 発達段階に応じた総合的な学習の時間で身に付けさせたい力を明確にし、学習の積み重ねを意識した指導を展開する必要がある。

【参考文献】

- ・ さいと学 テキスト 西都市教育委員会
- ・ さいと学 指導手引き 西都市教育委員会
- ・ さいと学 年間指導計画 西都市教育委員会
- ・ 小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 文部科学省 2008
- ・ 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 文部科学省 2008
- ・ 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編） 文部科学省 2011
- ・ 小学校キャリア教育の手引き 文部科学省 2011
- ・ 中学校キャリア教育の手引き 文部科学省 2011

【研究同人】

所 長	竹之下 悟				
主任研究員	黒木 伸郎（都於郡小学校）				
研 究 員					
水田 幸児	（妻 北小学校）	日高 誠一郎	（茶臼原小学校）	晋 真吾	（妻 中学校）
長田 有未	（妻 北小学校）	牧野 泰子	（都於郡小学校）	東郷 博一	（妻 中学校）
木下 浩利	（妻 南小学校）	坂尾 知宏	（三 財小学校）	下川 奈緒子	（穂北中学校）
中山 哲也	（妻 南小学校）	日高 恵子	（銀 上小学校）	榎本 真理子	（三納中学校）
満留 紀子	（妻 南小学校）			北原 幸子	（三財中学校）
事 務 局	荒武 真奈美、山内 昭弘、野邊 孝大、高山 めぐみ（西都市教育委員会教育政策課）				